雲仙市
UNZEN City Assembly

# 議会だより

11号

平成20年5月1日 発行

開かれた市政推進のためのコミュニケーション誌

主な内容


P2 平成20年第１回定例会概要
P4 意見書、特別委員会設置
P7 委員会審議報告
P11 21名が市長に問う
P22 韓国求礼郡訪問／編集後記

# 平成20年第１回定例会概要

平成20年2月28日から3月21日までの23日間、平成20年第1回定例会を開催しました。

市長提出案件の予算案件1件を修正可決、指定管理者案件1件を否決、その他2件を継続審査とし、その他は原案のとおり可決しました。

また、議員提出案件で意見書3件、条例改正1件を可決しました。

## ○主な決定事項

### 平成20年度一般会計予算を修正可決

総務費に計上されていた嘱託職員（警察ＯＢ）４名分の内、３名分（8,813千円）を減額し予備費を増額しました。

※詳細な審議内容は、７ページ総務常任委員会報告をご覧下さい。

## ２議案を継続審査

**□雲仙市工場等設置条例に関する条例の一部改正**

産業経済常任委員会に付託し、審議を行ったが継続審査と決定し、次回定例会（６月）までの継続審査と決定しました。

**□市道路線の認定について（仁田峠循環自動車道路）**

仁田峠循環自動車道路を県が委譲し、市道として認定しようとする議案であり、市道路線審査特別委員会を設置し審議を行いました。次回定例会までの継続審査と決定しました。

## 指定管理者指定の議案を否決

みずほすこやかランドふれあい会館ほか４施設の指定管理者として、特定非営利活動法人（ＮＰＯ）Ｖ・ファーレン長崎スポーツコミュニティを指定しようとする議案を賛成少数で否決しました。

※詳細な審議内容は、８ページ教育厚生常任委員会をご覧ください。

みずほすこやかランドふれあい会館

## ２特別委員会の設置

**□議会活性化特別委員会**

目的：議会の活性化に関する事項

**□県央県南広域環境組合所有のごみ処理施設調査特別委員会**

目的：県央県南広域環境組合が所有するごみ処理施設の管理運営に関する調査及び雲仙市から搬出されているごみの現状及び処理状況調査

県央県南クリーンセンター

# 平成20年度一般会計予算　255億8119万6千円

## 歳　出

（主な事業）

**民生費**
70億1,993万8千円
（27.4%）

◆災害時要援護者支援事業（新規）
◆消費者行政推進事業（新規）
◆障害者自立支援対策臨時特例基金事業
◆緊急通報体制等整備事業
◆食の自立支援事業
◆高齢者・障害者交通費助成事業
◆保育所運営費
◆子育てサポートセンター事業
◆生活保護費支給事業

**公債費**
45億6,586万7千円
（17.9%）

**総務費**
41億5,710万7千円
（16.3%）

◆市民満足度・重要度調査事業（新規）
◆雲仙ゆめみらい債発行事業（新規）
◆ＡＥＤ設置推進事業
◆市民提案制度事業
◆総合窓口設置事業（新規）
◆ふるさと応援推進事業（新規）
◆本庁・支所間電話統一事業（新規）
◆地域情報化計画策定事業（新規）
◆土地評価システム構築事業
◆選挙・滞納管理システム導入事業（新規）

**土木費**
26億876万4千円
（10.2%）

◆市道、河川改良及び急傾斜地対策事業
◆道路保安施設整備事業（新規）
◆橋りょう長寿命化修繕計画策定事業（新規）
◆景観計画策定事業（新規）
◆ミヤマの里づくり事業（新規）
◆雲仙古湯地区街なみ環境整備事業（新規）

**教育費**
19億591万7千円
（7.5%）

◆小中学校防犯対策事業（新規）
◆小中学校施設大規模改修事業
◆焼却炉清掃撤去事業（新規）
◆安全・安心な学校づくり交付金事業
◆図書管理システム整備事業（新規）
◆合併３周年記念スポーツイベント開催事業（新規）

**農林水産業費**
17億7,330万円
（6.9%）

◆産業まつり関係事業
◆地産地消推進事業（新規）
◆農林水産ゆめみらい事業（新規）
◆原油高騰対策資金利子助成事業（新規）

**衛生費**
15億7,216万1千円
（6.1%）

◆乳幼児健診事業
◆若年者健診事業（新規）

**消防費**
13億2,889万4千円（5.2%）

3億1,136万5千円（1.2%）

**商工費**
3億3,788万3千円（1.3%）

◆雲仙夢トライアル事業（新規）
◆防災訓練実施事業（新規）

**その他**

## 歳　入

**地方交付税**
102億1,502万5千円
（39.9%）

（内　訳）

◆国からの交付金

**市　債**
38億9,380万円
（15.2%）

◆辺地対策事業債　171,600千円
◆過疎対策事業債　487,200千円
◆合併特例事業債　2,430,400千円
◆臨時財政対策債　804,600千円

**市　税**
35億9,221万2千円
（14.1%）

◆市民税　1,209,155千円
◆固定資産税　1,915,003千円
◆軽自動車税　123,444千円
◆市たばこ税　240,646千円
◆入湯税　81,129千円

**国庫支出金**
21億755万9千円
（8.3%）

◆国庫負担金　1,778,812千円
◆国庫補助金　315,301千円
◆国庫委託金　13,446千円

**繰入金**
19億6,310万9千円
（7.7%）

◆基金繰入金

**県支出金**
18億2,956万2千円
（7.2%）

◆県負担金　919,946千円
◆県補助金　787,157千円
◆県委託金　122,459千円

**その他**
19億7,992万9千円
（7.6%）

◆使用料及び手数料　263,053千円
◆地方消費税交付金　426,157千円
◆分担金及び負担金　348,157千円
◆地方譲与税　359,177千円

# 意見書送付し、特別委員会を設置

雲仙市のごみ処理は諫早市、島原市、雲仙市、南島原市の４市で構成する県央県南広域環境組合のごみ処理施設で行ってます。

これまでも各議員より当組合の運営費等に対して質問や意見が出されていましたが、今回、次のような意見書を組合管理者へ提出し、議員全員による調査特別委員会を設置することとなりました。

## 県央県南広域環境組合が所有するごみ処理施設の適正な管理に関する意見書

県央県南広域環境組合が所有するごみ処理施設は、平成17年４月から稼働が始まり、本年３月で稼働して満３年を迎える。しかし、その間の稼働は順調とは言えず、多くのトラブルが発生し、その都度、多額の経費を要した。

また、去る２月20日開催された県央県南広域環境組合議会定例会において組合議会、並びに副管理者の雲仙市長（合併前の旧町を含む）との協議もなく、管理者が性能保証に関する覚書の変更契約を行っていることが判明した。

これは、組合議会、並びに構成市である雲仙市との信義を損なうものであり、誠に遺憾なことである。

更に、変更契約の内容は構成市並びに構成市の市民に多額の負担を求める内容であり、今後の管理運営費にも多大な影響を与える内容となっており、到底認められるものではない。

以上のことから雲仙市議会は、次の事項について強く要望する。

記

１．管理者は、性能保証に関する覚書を、副管理者並びに組合議会との協議もなく変更し、更に、本年２月20日まで公表しなかった理由は何か、構成市に説明を行うこと。

２．管理者は、平成14年10月15日付けで入札指名業者に提示された応札条件、並びに平成14年12月２日付けで業者と取り交わした性能保証に関する覚書に基づいて、JFE との清算交渉並びに見直しの協議を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年３月21日

県央県南広域環境組合　管理者　吉次　邦夫　様

雲仙市議会

県央県南クリーンセンター（諫早市）

## 議会活性化特別委員会を設置

議員発議により市議会の活性化に関することを目的に議会活性化特別委員会を設置し、今後、議会活性化のため各種の項目を調査・審議を行います。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○委員長 | 町田義博 | ○副委員長 | 森山繁一 |
| ○委員 | 岩永基和 | ○委員 | 福田大東 |
| ○委員 | 井上武久 | ○委員 | 元村康一 |
| ○委員 | 小畑吉時 | ○委員 | 前川治 |
| ○委員 | 前田哲 | ○委員 | 進藤一廣 |

## 意見書２件を送付

### 諫早湾の漁場再生等に関する意見書

国営諫早湾干拓事業に伴う、諫早湾の残存海域の水産振興については、これまで本市においても継続的に特別対策を実施し推進してきたところであります。

しかしながら、主要漁獲物であるアサリをはじめ、漁獲高は年々減少傾向にあり、漁業経営は大変厳しい状況となっています。

そのような中、昨年８月上旬頃から発生した赤潮や高水温の影響により、養殖アサリがほぼ全滅し、更には、諫早湾の新たな振興策として取り組んでいた養殖カキの九割が死滅するなど、多くの漁業者が深刻な被害を受けました。

本市は県と共に、緊急的に漁場への覆砂や種苗放流事業などへの支援をいたしましたが、諫早湾の漁場はいまだ回復する状況にはなく、非常に厳しい事態が続いています。

よって、一日も早い漁場再生のためにも、国におかれましては、下記の事項について特段の措置を講じていただきますよう強く要望いたします。

記

1　諫早湾の漁場再生・水産業振興対策事業並びに調整池の排水対策及び水質保全のための生活排水対策事業に係る財政支援
2　赤潮等の原因究明及び対策
3　漁業補償制度の創設など、漁業者の生活支援対策

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成20年３月21日

内閣総理大臣　福田　康夫　様
農林水産大臣　若林　正俊　様
衆議院議長　河野　洋平　様
参議院議長　江田　五月　様

雲仙市議会

## 道路特定財源の確保に関する意見書

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤であり、活力ある地域づくりを推進し、安全で安心できる国土の実現には、国民共通の社会基盤である道路を計画的に整備することが重要である。

しかしながら、その整備状況は未だ十分とは言えず、道路整備をより一層推進することは、国民が等しく熱望しているところである。特に私たちが住む、雲仙市は長崎県の南東部、島原半島の北西部に位置し、主要道路は半島を一周する国道251号と半島を縦断する国道389号と国道57号があり、これを県道、市道が補完している状況であるが、主要県道の整備等早急に道路ネットワークを構築する必要に迫られている。また、高速道路のインターチェンジまでの時間短縮を図り、九州の主要都市や本州へのアクセスとなる、地域高規格道路島原道路や国道57号森山拡幅の早期完成を待ち望んでいるところである。

このようなことから、道路整備に対する市民の要望は極めて強いものがあり、これらの道路は真に必要な道路である。

よって国におかれては、地方の現状を十分に踏まえ、引き続き道路整備の促進が図られるよう次の事項について強く要望する。

⑴地方の体系的な道路整備網の着実な整備を図るため、暫定税率を含めた現行の税率水準を維持し、必要な道路整備財源を確保すること。

⑵自治体財源の運営に支障が生ずることのないように、関連法案を年度内に成立させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年２月28日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内閣総理大臣 | 福田　康夫　様 | 国土交通大臣 | 冬柴　鐵三　様 |
| 総務大臣 | 増田　寛也　様 | 衆議院議長 | 河野　洋平　様 |
| 財務大臣 | 額賀福志郎　様 | 参議院議長 | 江田　五月　様 |

雲仙市議会

**暫定税率が廃止されるとネットワーク整備ができません!!**

| 表示内容 |
|---|
| 供用中 |
| 整備が遅れます |

**暫定税率が継続されることで最低限のネットワーク整備が可能です!!**

高速道路等の整備に今後10年で約2,730億円が必要

| 表示内容 |
|---|
| 供用中 |
| 整備してます。 |
| 概ね10年以内に整備に着手します。 |
| 長期計画等区間 |

（供用区間については平成20年3月時点）

**地域の自立を目指すため、道路事業費の約6割を占めている道路特定財源の暫定税率を維持することが必要です。**

**本委員会に付託された左記の案件について、原案可決8件、修正可決1件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。**

| 付　託　案　件 | 審議結果 |
|---|---|
| 平成20年度一般会計予算 | 修正可決 |
| 平成19年度一般会計補正予算 | 原案可決 |
| ふるさと応援寄附条例の制定ほか５件 | 原案可決 |
| 雲仙市役所部設置条例の全部改正ほか１件 | 原案可決 |

## 平成20年度一般会計予算

**質疑**●危機管理対策事業の3名増員の必要性について

**答弁**●長崎市は現職を含む6名、佐世保市5名、諫早市4名、大村市1名が配置されている。生活保護等トラブル発生、行政対象暴力に対する未然防止を目的に配置予定である。

**質疑**●実例はあるのか。

**答弁**●入札関係で市民課を通じて警察OBに対処してもらった。電話等で数件あっている。

**委員の意見として**

○危機管理の大切さは理解できるが、増員提案根拠が強く感じられない。

○職員削減も行われている。必要性が感じられない。

○現在の嘱託職員を中心として、職員研修を充実、対応マニュアルを整備することが必要ではないか。

○危機管理に対する職員の調査等を実施して、具体的な配置方針、配置場所等を決定してから計画すべき。

以上のことから、委員会としては今回増員分については、減額修正して可決すべきものと決定。

## 平成19年度一般会計補正予算（第6号）

**質疑**●地域づくり補助金について、その申請状況・実績は。

**答弁**●「くにみの日」開催事業、日本一海上大綱引き実施事業など18件。辞退はあったが、承認しなかったものはない。

**質疑**●地方バス路線維持対策について、最終的に市民の足をどのように考えているか。

**答弁**●交通空白地帯となっているグリーンロードを中心に一部の地域で乗合タクシー実証実験等を行い、利用状況を調査検証し、将来的には住民の方が主体となった運営というものが出来ないかを考えている。

## ふるさと応援寄附条例

**質疑**●指定をして寄附ができるのか。

**答弁**●雲仙市出身者等が、ふるさと雲仙への想いを持ち、本市のまちづくりを応援したいという意志により寄附される場合に、寄附金の円滑な受け入れ及び管理を行うとともに、その意志を具体化するため条例を定める。

寄附を呼びかける際は、ホームページや募集チラシで細項目を設けて具体的に寄附を募りたい。市全域に使えるような形で寄附をお願いする。

## 市役所部設置条例の全部を改正する条例

**質疑**●農漁村整備課が建設整備部に入っているが、農業・漁業は農林水産課と業務を進める時に事業がらみで関連していると思うが。

**答弁**●農林関係のソフト事業が土地改良事業との関連があると思われるが、ハード面について区分した。

**質疑**●水道課について、企業会計があり再編した場合には、企業会計と普通会計の命令系統が違うことになるのか。

**答弁**●今までと同じような形で管理者が市長で、建設整備部長等が水道課の上司となるので、水道事業企業職員の併任の辞令を発令することにより命令系統の統一を図っていく。

# 総務

**本委員会に付託された左記の案件について、不採択1件、原案可決15件、原案否決1件と決定しました。**
**主な案件の質疑内容は次のとおりです。**

| 付　託　案　件 | 審議結果 |
|---|---|
| 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願 | 不採択 |
| 後期高齢者医療に関する条例の制定ほか４件 | 原案可決 |
| 指定管理者の指定（みずほすこやかランドふれあい会館ほか４施設） | 原案否決 |
| 指定管理者の指定（国見総合運動公園「遊学の里くにみ」） | 原案可決 |
| 平成20年度一般会計予算案ほか８件 | 原案可決 |

# 教育厚生

## 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願

国に対して制度を中止・撤回する意見書の採択を求めたもの。

**賛成討論**○全国の自治体が制度見直しの声を上げることが住民の期待に応えることになる。

**反対討論**○高齢社会の進展に伴い、国民皆保険制度を将来にわたり持続させるため、現役世代と高齢者とともに支え合う制度と考える。

## 後期高齢者医療に関する条例の制定

高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき、後期高齢者医療の運営に必要な事項を定めるために制定するもの

**反対討論**○高齢者を75歳で区分し、医療を差別化し具体化する内容に反対する。

**賛成討論**○先の議会で、運営母体である長崎県後期高齢者医療広域連合の設置を議決している。

## 指定管理者の指定（みずほすこやかランドふれあい会館ほか4施設）

指定管理者として特定非営利活動法人V・ファーレン長崎スポーツコミュニティを指定するもの。

**質疑**●評価基準における管理運営経費の評価は。

**答弁**●過去の利用状況や収益、経費などの実績も参考資料としての提案型であり、年々低下している利用状況を勘案した選定委員会の総合的な判断によるもの。

**質疑**●検討部会の審査結果と、選定委員会のヒヤリングはどちらを重視されたのか。

**答弁**●検討部会の書類審査と、ヒヤリングにおける選定委員個々の考えに基づく採決結果である。

**反対討論**○施設設置当初の住民サービスに資する施設としての観点から、2社が提出した応募理由並びに管理運営方針について、条例に規定する項目に関し深い考察がなされていないと考えられる。

市の財政負担を軽減するという大きな趣旨に反した選定結果と判断する。

**賛成討論**○雲仙市公の施設指定管理者選定委員会設置要綱に基づき、検討部会では5名の委員が慎重に書類審査をされ、11名による選定委員会においては検討部会の内容を精査され、2団体のヒヤリングを実施し問題なく選定されている。

## 平成20年度一般会計予算案

みずほすこやかランドプール

**質疑**●子育てサポートセンター事業の体制の拡大は。

**答弁**●今後会員が増加し、看護師などの資格取得者が増加すれば預かりの拡大も考慮する。

**質疑**●高齢者交通費助成事業の今後の方向性は。

**答弁**●高齢者の外出支援として有効施策である。財政的に可能な限り制度保持、継続していく。

**質疑**●後期高齢者医療制度の高齢者への周知は。

**答弁**●広報や老人クラブ、自治会説明会時にも周知する。

**質疑**●スクールサポーター配置事業を中学校まで拡大した理由は。

**答弁**●学習支援や特別な教育配慮を要する子どもがいることを受けての配置である。

**反対討論**○後期高齢者医療制度に関する約7億円の予算計上がある。また、国民健康保険へ市独自の繰出金がない。

**賛成討論**○後期高齢者医療に対する条例に則った予算であり、税収についても滞納徴収に力を入れ、様々な制度に対し整合性があると認める。

## 平成20年度国民健康保険特別会計予算案

**反対討論**○保険税は市民にとって耐え難いものであり、市民に負担を強いる予算である。

**賛成討論**○厳しい財政状況下、特定健診の無料実施等や事務費の縮減努力された予算である。

**本委員会に付託された左記の案件について、原案可決16件と決定しました。**
**主な原案の質疑内容は次のとおりです。**

| 付　託　案　件 | 審議結果 |
|---|---|
| 手数料条例の一部改正ほか１件 | 原案可決 |
| 平成20年度一般会計予算案ほか７件 | 原案可決 |
| 市道路線の認定ほか５件 | 原案可決 |

## 手数料条例の一部を改正する条例

採石法に基づく岩石採取計画の認可等に基づく砂利採取計画の認可等に係る事務の権限委譲に伴う条例改正。

**質疑**●手数料の金額は妥当であるのか。また過去に事例はあるのか。

**答弁**●金額については国に準じて設定しており、過去に雲仙市内においての事例はない。

## 市営住宅設置条例の一部を改正する条例

旧千々石町において県より有償にて借受け、「森馬団地」として設置していた県立小浜高等学校公舎を返還したことに伴う条例改正。

**質疑**●この公舎は老朽化しているが撤去の考えは。

**答弁**●周囲への危険性が確認された場合には、県と協議したい。

## 平成19年度一般会計補正予算（第6号）

**質疑**●減額の理由として用地交渉の不調が挙げられているが、その対策は。

**答弁**●新規事業については潰れ地予定地の事前調査を十分行うと共に、用地の協力の目処が付いた時点で着手するよう心がけている。

**意見**　用地交渉に関するさまざまな事例を研究及び共有化し、今後の交渉に生かしてほしい。

市道愛野前田丸山線

# 建設

## 平成19年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

**質疑**●水道加入金について各町で違いがあるのか。

**答弁**●各町統一されている。

## 平成19年度下水道事業特別会計補正予算（第4号）

**質疑**●下水道使用料に単価の違いはあるのか。

**答弁**●公共下水道と農業集落排水で違いがあるので、今後は統一していく必要がある。

**質疑**●脱水ケーキ運搬及び処分の単価はいくらか。

**答弁**●運搬費と処分費を合わせて１ｔ当たり１万三千円である。平成20年度より国見町の硝化センターにおいても受入可能となったので、現在と比較をして安価の方にお願いする。

## 平成20年度一般会計予算

**質疑**●橋りょう長寿命化修繕計画策定事業において、事業対象外の15ｍ未満の橋について調査をする考えはないか。

**答弁**●国のヒアリング時に補助対象の範囲を15ｍ未満についても拡大してほしいと要望をしている。長寿命化計画を策定していれば、補修する際に補助対象となることから、先ず15ｍ以上である86橋の調査を実施したい。

## 平成20年度簡易水道事業特別会計予算

**質疑**●水道ビジョン・統合計画策定事業の内容は。

**答弁**●簡易水道を統合しなければ国からの補助を受けられないようになるため、先ずは簡易水道の統合を第一に考え実施するものである。将来的には簡易水道と上水道の統合を進めていくことになる。

## 市道路線の認定

**質疑**●宅地造成による市道認定となった経緯は。

**答弁**●愛野町の２路線については市道の基準を満たしており、自治会からも寄附の承諾を得ている。千々石町の１路線については、旧町で議会の議決を受けないまま路線認定されていたものである。

## 公有水面埋立に関する意見

公有水面の埋立てに関し地元市長として意見を求められたもの。

**質疑**●諫早湾干拓堤防道路取付道路の路線変更がなされたが、この埋立の利用価値はあるのか。

**答弁**●堤防道路も暫定開放がなされ、農林水産業及び観光などを含め有効活用すべきであると考える。

雲仙地区市道整備

本委員会に付託された左記の案件について、採択1件、継続審査1件、原案可決3件と決定しました。
主な案件の質疑内容は次のとおりです。

| 付　託　案　件 | 審査結果 |
|---|---|
| 諫早湾の漁場再生等に関する請願書 | 採択 |
| 工場等設置奨励に関する条例の一部改正 | 継続審査 |
| リフレッシュセンターおばまの設置及び管理等に関する条例の全部改正 | 原案可決 |
| 平成20年度一般会計予算ほか２件 | 原案可決 |

## 諫早湾の漁場再生等に関する請願書

漁業者の実情を十分考慮し、有明海・八代海再生特別措置法等による今後の諫早湾の各種対策について、国の関係機関に意見書を提出するよう要請されたもの。

## リフレッシュセンターおばまの設置及び管理等に関する条例の全部改正

リフレッシュセンターおばまを市の直営、指定管理者どちらでも対応できる規定とするもの。

**質疑**●これまで指定管理者として事業を行っていた事業者が応募しなかった理由は何と考えるか。

**答弁**●推測であるが応募者側にとっては魅力が少なかったのではないか。これまでの実績において申請者が考える指定管理料と、今回公募した指定管理料では違いがあったのではないかと考えている。

# 産業経済

## 平成19年度一般会計補正予算（第6号）

**質疑**●イノシシ捕獲謝礼金は猟友会に入っていないと謝礼を受けられないのか。

**答弁**●市より捕獲団体である猟友会へイノシシ駆除の委託をしているので猟友会の会員のみに謝礼金を出している。

**質疑**●佐世保市で起きた銃乱射事件を受けて狩猟者登録の取り消しがあるが、本市ではそのような例はあっていないか。

**答弁**●今のところあっていないが昨年から高齢などにより免許の更新をされていない方がいる。

## 平成20年度一般会計予算

**質疑**●新規事業の農林水産ゆめみらい事業の要綱作成にあたっては各種団体の意見は集約しているのか。

**答弁**●農家個々の意見集約はしていないが、認定農業者など各種農業団体の代表者からは意見を聞いている。

**質疑**●直売施設費として吾妻ふるさとふれあい館、千々石農産物直売所の運営費が計上されているが、吾妻ふるさとふれあい館のみ施設使用料を徴収している理由は。

**答弁**●両施設とも旧町において町の施設として建設した経緯から旧町の運営方法を踏襲しており、千々石農産直売所は施設使用料を徴収していない。今後、関係者などと話し合いを行い、指定管理者制度も含めて他の施設と均衡を図るように平成20年6月までには検討したい。

**質疑**●森林病害虫等防除事業について、現状の予算額では対応できないと考えるが具体的にどのような取り組みをするのか。

**答弁**●国見町の長浜海水浴場の松林は毎年、数本の松が枯れているのが現状であるが、現在も実施している薬剤の地上散布、樹幹注入などにより防除を図りたい。

生ごみに混入された物（資源リサイクルセンター）

## 平成20年度国民宿舎事業特別会計予算

**質疑**●今回の大規模改修は利用者の増加を図るための改修と考えるが、平成19年度から平成28年度までの財政収支計画では平成23年度から宿泊者数、休憩者数を2％減少する見込みとしている理由は。

**答弁**●今回の大規模改修でリニューアルを行い、宿泊者1万人、休憩者を12万5千人と目標設定しさらに集客を図るが、財政計画ではより厳しいシビアな状況を見込んで計画している。

# 21名が市長に問う

掲載している内容は、各議員が原稿を提出し、議会広報編集特別委員会でレイアウト及び校正を行ったものです。

紙面の都合上、１人半ページとなっております。詳細についてはホームページ、または各総合支所で閲覧（５月下旬）できます。

まちだ　まこと
**町田　誠　議員**　千々石町

## 国際交流の推進について

**町田議員**　**雲仙市と大韓民国求礼郡との姉妹結縁を結び一年を迎えた。一月に雲仙市議会訪問団として韓国求礼郡訪問をさせてもらい、求礼郡守また求礼議会議長他大勢の方より歓迎を受けた。農業分野を見ても、特に施設園芸が進み水田の基盤整備も進んでいた。一番印象に残っているのは、国はちがっても気持が通じ合ったこと。今後の交流についての考えは。**

**奥村市長**　まず市民交流を促進し、また新たな分野での交流を模索している。

**宮崎企画課長**　双方発展と繁栄のため協力し合い、観光・農業・文化・スポーツ・福祉あらゆる分野で民間主導による交流を考えている。

**町田議員**　**次に雲仙事務所開設の可能性や互いに駐在員を派遣し、あらゆる分野で情報の共有、また職員の交流についても行ってほしい。韓国以外との交流について。**

**奥村市長**　まずは本市在住の方と求礼郡に在住の方の交流を重ね、両国間の友好関係を深めたい。

**宮崎企画課長**　経済発展の著しい中国との交流も図っていきたい。

## 市職員の綱紀粛正について

**町田議員**　**職員による収賄事件、飲酒運転など不祥事が後を絶たない。真面目に仕事を行っている職員に迷惑がかかっている。市民の信頼回復を目指す意味で市職員倫理規程が制定されている。市職員倫理規程の遵守と再発防止について。**

**奥村市長**　市行政に対し市民の皆様、議員の皆様に対しお詫び申し上げます。

## 緊急事態発生時の対応策について

**町田議員**　**佐世保スポーツクラブまた国見町でも、同日銃による凶悪な事件が発生した。本市の緊急時の対応は。市民を守り、また職員の身の安全について。**

**塩田総務部長**　事態発生時には防犯講習会の折、身近ないすなど利用し対処する。今後警察など招き防犯講習会を行う。

## 町田　康則　議員
まちだ　やすのり　小浜町

### 市民が利用しやすい窓口カウンターの設置について

**町田議員　市役所市民課の所へ腰の曲がったお年寄りが来ておられるのを見た時、カウンターが高く職員に聞くことはできにくいなと思った。各支所を回り調べたら、小浜支所を除き90㎝～100㎝と高く高齢者、障害者が利用しやすい窓口カウンターになっていないがどうするのか。**

**奥村市長**　平成20年4月から本庁、支所とも総合窓口を開設するが、市民が利用しやすいローカウンターに早期に改修する。国見庁舎は段差を解消し、愛野庁舎はスロープ傾斜を改修しローカウンターを設置したい。

### 市民にやさしい屋根付バス停留所の設置について

**町田議員　雲仙市の高齢者、子どもたちを合わせた数は2万931人で全人口に占める割合は42%となっている。12月議会で宮崎課長はバス停の屋根はバス事業者において設置されるべきだと言われ、しかし、島原鉄道においては、財源等の問題から整備を行える状況にないと聞いていると言われた。それならば、一番困っている市民、特に高齢者、障がい者、子どもたちはどうすればいいのか。**

**宮崎企画課長**　現在、策定中である雲仙市交通計画の中で環境整備として検討している。

**町田議員　県を調べたら、まちなか活性化推進ガイドラインに基づき、公共交通整備ということで、バス待合所の整備などを、国のまちづくり交付金に上乗せして補助金をやる事業があるがご存じか。**

**宮崎企画課長**　すみません。存じ上げていない。

**町田議員　平成19年地域公共交通活性化法が施行され、交通計画を作成し法定協議会を立ち上げるとバス停の整備などにも国から補助金が出るが、県の補助事業もあるので検討してもらいたい。**

**宮崎企画課長**　雲仙市には島鉄しかない。今後いかに維持存続していくかが最も重要だと思う。そのためには多くの皆様に利用していただかないといけない。利用していただくためには、当然利用しやすいバス停、駅舎が必要である。国の支援を受けて設置できるか現在協議しているところである。

## 原田　洋文　議員
はらだ　ひろふみ　南串山町

### 農漁業の活性化対策は

**原田議員　雲仙市の基幹産業である農漁業は、今非常に厳しい状況にある。基幹産業の衰退は、雲仙市の衰退そのものであるが、どんな対応策を考えているのか。**

**奥村市長**　無利子となる利子補給制度の創設、担い手対策やブランド化に向けた振興対策、国県の助成事業の活用など経営改善に向けた対応を考えている。

**原田議員　農業活性化対策の雲仙未来事業でどれくらいの農家を支援するのか。**

**酒井農林水産環境部長**　出来るだけ多くの農家に活用を考えるが、昨年実績ハード事業15件、ソフト事業47件が活用。

**原田議員　提案をしない農家支援策はないのか。自分達で何とかしなさいという事か。**

**酒井農林水産環境部長**　十分活用していただければと思う。

**原田議員　緊急の融資制度の据置期間、償還期間の延長は考えられないのか。**

**酒井農林水産環境部長**　受付終了時点で十分検討させていただきたい。

**原田議員　こういう厳しい現状が続きますと一番元気を失うのは後継者であるが、どんな対策を考えているのか。**

**酒井農林水産環境部長**　青年農業者の活動の補助ゆめみらい事業の中で支援していきたい。

**原田議員　市長会や地元代議士に厳しい農業の現状を伝えているのか。農業の問題は出てこないようだが。**

**奥村市長**　市長会の中でも農業漁業の問題を話し合っているし、地元代議士も含め東京に行った時は、農林水産省へも実情を訴えている。

### 継続事業について

**原田議員　継続事業の現状について伺いたい。**

**島田建設整備部長**　県営鬼池地区畑地帯整備事業が20年度まで。南串山地域農村振興総合整備事業は、22年度まで残り10地区の予定。

南串山後山尾登線改良事業は、早期完成に向け事業推進していく。国道から500m区間は、地形技術問題等も踏え検討していく。

**原田議員　雲仙市職員は市の大切な人的財産であるので今後一層、十分な健康管理に努め、雲仙市の農業漁業が続けていけるように、職員一体となって、その対応策を考えてもらいたい。**

## 中村 一明 議員
なかむら かずあき　南串山町

### 諫早湾干拓地の営農について

**中村議員** **地元農産物とは競合しないとのことであるが、雲仙市の農産物はどのように販売されるのか。**

**酒井農林水産環境部長** 昨年12月に入植増反経営体は農業者26件、法人16件、42件で露地野菜では、バレイショ、タマネギ等519haの施設園芸では、ホウレンソウ、イチゴ等18ha、麦、大豆等172ha、飼料作物、266haとなっている。

また、販売先についても大手量販店や生協との直接取引き等、安定した取引先を持つ法人や関連企業等、大都市圏への出荷が予定されており、地域農産物との競合はないものと思われる。

**酒井部長** 市内の農産物の流通経路は、農協系と系統外があるが、低価格の原因は輸入の増加、消費者の低迷も考えられ干拓の作付け面積の拡大により低価格につながるとは思われない。

### 高齢者福祉について

**中村議員** **シルバー割引定期券等、お年寄りに好評であるが助成をお願いしたい。**

**奥村市長** 福祉タクシー助成かシルバー割引券による助成か選択できるよう検討する必要がある。現行制度の利用者との公平性や助成の割合など調査研究していきたい。

### ふるさと応援推進事業の中身について

**奥村市長** 雲仙市出身の皆様から市への寄附される場合に、ふるさと応援基金として活用させていただくと共に、寄附者へは、本市の特産品等をお送りする。

### 住宅改造資金の無利子融資制度の創設について

**中村議員** **この中に住宅リフォーム制度を取入れてほしい。**

**奥村市長** 対象事業費60万円を上限に3分の2を助成する制度がある。すべての住宅にリフォーム費用に対し、無利子の融資制度は出来ないが利活用の容易な制度になるよう充実を図る。

花嫁対策については、男女が気軽に意見交換や議論をできる場、出会いの場を企画していく。

### 企業誘致の推進と地場産業の育成について

**奥村市長** 平成19年度から市独自の奨励制度を設置し、企業へのアピールや市内外の企業訪問等規模拡大の推進に積極的に取り組んでいる。三貴工業においては平成19年度15名平成20年度15名平成21年度10名3年間で40名新規雇用が計画されている。現在24名が雇用、今年末は9名の市内在住者を含む11名が新規内定されている。

## 吉田美和子 議員
よしだ みわこ　瑞穂町

### 市内公共施設の分煙・禁煙状況は

**吉田議員** **平成15年の健康増進法施行を受け、毎年県内でも調査が行われているが、市内公共施設における分煙・禁煙状況と今後の具体的な取り組みは。**

**塩田総務部長** 多数の者が利用する施設を管理するものは、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。これに基づき、市内庁舎等建物内での喫煙は禁止し、建物外に喫煙所を設けている。

**吉田議員** **夜間の会議、休日も全て禁煙か。また、ベランダはどうか。**

**塩田総務部長** すべて禁煙であるが、ベランダではよいと解釈している。

**吉田議員** **旧吾妻庁舎には、分煙機があったと聞いている。まだそれがあるのなら、みずほ温泉千年の湯に設置できないか。館内の奥まったところに、ビニールの覆いが下げられているだけの喫煙場所となっているが。**

**金子副市長** 分煙機のみでは、たばこの有害物質を取り除けないと言われている。

**吉田議員** **そのことは承知しているが、煙たさだけはなくなるのではないか。探せるなら探して、是非設置して欲しい。**

**また、たばこを吸うことで、健康被害がいろいろ報告されている。特に肺ガンは高い数値を示している。たばこは嗜好品ではあるが、自分の意志とは関係なく、他人のたばこから立ち上る副流煙を吸わされている人の健康が損なわれるのは、誰に責任を問えばよいのか。「ここでたばこを吸わないで」とはなかなか言えない。**

**今後、禁煙したいと思っている人には、1日1本から本数を減らしていかれることを勧めたい。**

#### 他の一般質問内容
◎市内公共施設の管理体制について
◎男女共同参画センター設置後の成果と今後の推進計画について

#### 施政方針についての質問内容
◎住民参加型公募地方債（雲仙ゆめみらい債の発行目的、発行金額及び時期等について）
◎健康と福祉づくり（健康な地域づくりでの新たな取り組み、健康推進員の人選法等）

## 中村 勲 議員
なかむら いさお　千々石町

### 学校給食の運営について

**中村議員　(1)～(4)までの項目について問う。**

**鈴山教育長**　(1)平成19年度の運営経費は2億9千263万円見込んでおり児童一人当りの経費は5万6千円、(2)食材の地元業者の納入状況は、19年4月から20年1月まで30%、(3)給食費の徴収方法と未収金対策について、20年2月現在の未納額1千989万1千2百円となっており、未納給食費の徴収については、納付相談を行い11月から管理職職員による夜間訪問徴収をしている。(4)原油高騰による給食費の児童生徒の負担金については、今検討中で、具体化した折は、お知らせする。

### 諫早湾干拓堤防道路に設置している仮設直売所の現況と今後の方針について

**奥村市長**　堤防道路の暫定開放に伴い昨年12月23日から仮設の直売所及び休憩所を開設した。市内13事業者で運営しており、2月23日までの販売額は約2、480万円、推定来客は約6万5千人と聞いている。今後は町下地区公有水面埋め立ての利活用計画の参考資料として活用し、物産振興や販売戦略を立てる上での貴重な資料としたい。

### 千々石海岸の環境整備について

**(1)千々石海岸の護岸改修について**

**島田建設整備部長**　既設護岸に先駆け擁壁工事を実施しており塩屋地区は平成20年度の台風時期前までに完成するよう努力する。

**(2)千々石海水浴場の砂の現象対策について**

**島田建設整備部長**　平成19年度は原因調査費用や工法検討調査だけで3千万円かかるし、離岸堤を設置する工法が必要ですが費用が47～48億円程度かかるので市全体の事業を見極めながら模索している。

**(3)今夏の千々石海水浴場の開設について**

**塩田総務部長**　千々石海水浴場は歴史ある海水浴場であり雲仙市の観光振興の面からも、今後とも存続の方向で検討させていただきたい。

千々石海岸

## 町田 義博 議員
まちだ よしひろ　千々石町

### 地域活性化は

**町田議員　経済のグローバル化に伴う産業構造変化や高齢化社会への変容で、都市と地方の地域間格差はますます広がる傾向にあるが、市長はこれをどうとらえているか。**

**奥村市長**　あらゆる面で格差は拡大している。財政基盤が脆弱な本市であるが課題に対処したい。

**町田議員　地場産業の農林漁・商工・観光業など市内には多岐の産業事業所がある。今の時期は、地場産業を活性育成強化することが現実的であると思うが、その具体策はどうか。**

**奥村市長**　市民主役で希望を持ち、やる気のある者には限りない支援をするスタンスである。市総合計画の中で目標を設定し実現に向け実施する。

新規に支援事業を創設や交流人口の増加を図り活性化を図りたい。

### 市の行財政は

**町田議員　定員管理計画より早い職員の減や、市民サービス向上並びに事務改革としての電算システムの単独化について、前から進展がないが今後の対処は。また早期に単独化構築を進めることはできないか。**

**奥村市長**　電算システムの単独化は必要な時期に来ている。共同処理中の島原市は単独意向であるが南島原市に理解を強く求めていく。

**町田議員　平成22年度までの改革集中プラン60項目の進捗や達成状況をどのように判断されているか。**

**奥村市長**　既に実施に向け具体的に取り組み中は35項目、準備調査研究中で検討段階中25項目であり、可能な限り早い時期に取り組みたい。

**町田議員　市財政健全化の展望と中期財政計画に基づいた予算編成か。具体的取り組み状況は。**

**奥村市長**　シーリングによる予算の縮減や事業の選択と集中を進め、自主的、主体的事業の創設、見直しを行う。また借入金の繰上償還を実施し、今年から行政評価制度を導入し、質の高い行政に努める。

新規事業や予算措置を必要としないゼロ予算事業26件に取り組むと共に、長期的な視点で財政運営に当たりたい。

もりやま　しげいち
## 森山　繁一　議員　国見町

### 喫煙者に対する市の対応は

**森山議員　公共施設における喫煙場所の設置状況はどのようになっているのか。**

**塩田総務部長**　平成15年5月に健康増進法が施行されたことで、庁舎等建物内での喫煙については、全施設禁煙となっている。建物外に喫煙場所を設けている。

**森山議員　喫煙者にはマナーを守ってもらい、市には、気持ちよく一服吸える場所を設置して頂きたい。**

### 市税滞納徴収の強化を

**森山議員　滞納徴収職員専門員の増員はどのように考えているか。**

**奥村市長**　税の滞納は市民に不公平感を与えるし、納税意欲の減退につながるので、現在1名を20年度は2名体制で滞納税の徴収や滞納者に対し納税相談を行っていきたい。

**井上市民生活部長**　徴収嘱託員は滞納者340件を担当し、また税務課職員の指導もやっている。

### 総合窓口の開設について

**森山議員　市民の皆様に時間外の予約による証明書等の発行について。**

**奥村市長**　執務時間内に都合で来庁できない方々に執務時間内に電話等で依頼を受け、必要とされる証明書等の交付を宿日直嘱託員によって交付する仕組みである。

### 農林水産業の振興について

**森山議員　農林水産業は価格の低迷、原油高騰が燃料や生産資材まで影響して経営を圧迫している。市の対応は。**

**奥村市長**　農林漁業セーフティネット資金の貸付対象者への利子負担を無利子に、平成20年度から農林水産ゆめみらい事業として、環境保全型農業推進事業の施設園芸省エネルギー、施設装置の導入経費についても支援したい。

**森山議員　原油高騰の対策につきましては、今後幅広い分野で市民の農水産業、また、色々な方々のメリットになるような施策をやって頂きたい。**

まえかわ　おさむ
## 前川　治　議員　愛野町

### 農業振興について

**前川議員　昨日来より今の農業情勢を取り巻く環境、或いは農業経営そのものが非常に厳しい状況にあるという議論がなされていたが、厳しいと言うより今や深刻な状況にあると思う。**

**　市長は、総合計画で「日本一の農業」を目指すと、高い目標を立てその推進に努力しているが、まずは今のこの深刻な状況から脱却することが先決ではないかと思うが。**

**奥村市長**　農業を取り巻く情勢について認識しているかという質問だが、農業が厳しい状況は常々聞いている。

　また、そのため市全体に活気がないことも十分承知している。これから農業に参入しようとする人、或いは父の背中を見て頑張ろうとする人が、希望と夢を持って頑張っていただけるための後押しはしたいと思う。

**前川議員　今の厳しい深刻な状況を率直に認識されていることはわかった。その厳しい状況下にある農家は一体何を求め、どうしたいのかということを知る必要があると思うが。**

**奥村市長**　生産者と向き合いながら、新たな計画をし、新たな生産品目に取り組む人たちに協力して行く。今ある現状に対して希望を失わないでほしい。

**前川議員　雲仙ブランドの担当者は営業マンになって関東・関西の大消費圏に営業マンとして動いてほしい。ただ認定をするだけでは販路が伸びることはない。**

**　また、水不足時に雨を降らせることは市ではできないが、配水施設さえ整えばいつでも水は供給することができる。だから、補助支援だけでなく色んな方策も積極的に考えていく必要があると思うが。**

**奥村市長**　雲仙ブランドは、「何のための効果があっとか」とか、「その後どうなるとか」という批判もある。今後は販路を拡大する施策を生産者の方々と話し合いながら取り組んでいく。それから、水不足の問題も含めた農業振興であるが、生産者の方々の総意の下、よりよい方向にもっていくのが行政に課せられた責務だと思っている。

## 小田 孝明 議員（おだ こうめい）国見町

### 島鉄南線は残せないのか

**小田議員　島原鉄道は国見町多比良の植木元太郎氏が創業されて百年、島原半島の発展に多大な貢献をしてきた。4月1日加津佐駅～島原外港駅間が廃止の予定というが、どう検討したのか。また、市長の見解は。**

**奥村市長**　非常に残念な結果であるが、この問題は一義的には南島原市と島原市の一部のことであり私の見解は控えたい。

**宮崎企画課長**　昨年4月国土交通省や県、沿線自治体等で構成する島原鉄道自治体連絡協議会廃止問題対策会議を設置し協議を行った。島鉄より5年間で13億5千万円の支援が必要と提示されたが、自治体（県・市）による公的支援は困難との結論に至った。また、バスによる代替運行を行うことが確認された。

**小田議員　南線の廃止は次の北線の廃止とならないか。市の地域公共交通計画に北線をどう利活用していくのか。**

**宮崎企画課長**　島鉄の塩塚社長は「北線は廃止させない」と述べられている。市内の公共交通空白地帯の集落と駅、バス停を乗り合いタクシー等により結び、既存のバスや鉄道への乗り継ぎの利便性の向上を図る施策、北線及びバスの利用促進策等を計画したい。

### 全国大会の経済効果は生かせるのか

**小田議員　第10回全国和牛能力共進会の会場決定が理解しがたい。**

**奥村市長**　2月7日第4回長崎県実行委員会でメイン会場佐世保市、サブ会場島原市と決定した。

**小田議員　佐世保会場の経済効果は疑問があるが、サブ島原会場の経済効果をどう高めるか。**

**金子副市長**　雲仙、島原、県の施設を見学するルート、雲仙天草国立公園と世界遺産等を含めたルートを形成し、長崎大会参加者を雲仙市内、島原半島に多く呼び込みたい。

**奥村市長**　島原半島は畜産振興地域であり長崎大会をてこにして、更に畜産振興の促進に努めたい。

## 進藤 一廣 議員（しんどう かずひろ）瑞穂町

### 「農業と観光」主軸はどっち！

**進藤議員　農業と観光のどちらを施策の主軸とされるのか。**

**奥村市長**　長期的に見なければならない農業と、短期的に効果の得られる観光とは両輪であり、農村社会を支え、産業全体を守る方法としてどちらも重要で、それぞれの柱を束ね大きな軸とする考え方を持っている。

**進藤議員　今後の農業と観光をリンクした事業の推進はどのように考えているのか。**

**東観光商工部長**　農業と観光とのかかわりとして地域資源を活かした体験型観光などを中心とし、県外からの修学旅行や観光客増大に努め、新たな観光ルートの開発などで交流人口を増すことにより地場産業の活性化につなげたい。

**進藤議員　圃場整備後の農業振興はどのような施策を講じるのか。**

**酒井農林水産環境部長**　営農計画をもとに土地改良区が中心となり営農活動を行い、市としては地域の要望により、土地改良区・農協・農業改良普及センターとの関係を深めつつ、営農活動のメニューを具体化する支援を行う。また高齢化により耕作できない農家の受け皿として、農作業の受委託や機械の共同利用を行う集落営農組織の推進を育成している。

### 施策方針

**進藤議員　父子家庭に対する市の支援策は考えているか。**

**奥村市長**　母子・父子家庭という捉え方ではなくひとり親家庭への支援という観点から国・県への支援制度の充実を働きかけたい。

瑞穂古江地区圃場整備地区

### その他の質問

・郷土芸能の振興と観光への活用策について
・国際交流の推進わけても、カナダ・バンフとの交流の推進について

## 佐藤　靖弘　議員
さとう　やすひろ　小浜町

### 「住民参加型公募地方債」発行の具体的内容は

**佐藤議員**
**①購入対象者は。**
**②募集金額を超えた場合は。**
**③受取利息に対する課税関係は。**
**④取り扱い金融機関は。**
**⑤広報は何月頃か。**
**⑥換金できない期間は。**
**⑦今後の発行の方向性は。**

**塩田総務部長**　①市内在住、勤務の個人、営業所や事務所を市内に有する法人を含む。基本的に高校生以上として考えている。
②一億円に達した時点で完売とする。
③所得税15％、地方税5％が源泉徴収される。
④金融機関は、8月頃を目処に決定する予定。
⑤一、二ヵ月前には広報紙で周知する。
⑥基本的には、換金できない期間を設定しない。

**奥村市長**　⑦平成20年度の状況を考慮して検討する。

### やる気のある農林水産業者等の創意と工夫に基づく提案型事業について

**佐藤議員**
**採択基準の具体的緩和策と中小規模の業者への支援策は。**

**奥村市長**　基準目標と選択目標の要件を廃止、国、県の補助事業の要件を満たす提案についても受けつける。
　またハード、ソフト事業の項目をなくし、補助限度額も、農業関係で2千万円、林業、水産業で1千万円までとした。
　次に中小規模農林水産業者も取り組みやすいように事業主体として、農業者、林業者、水産業者、それぞれが2戸以上で組織する団体であれば提案できるようにしたい。

**酒井農林水産環境部長**　事業主体は、認定農業者では、1戸以上、それ以外の農家については、認定農業者以外の農家でも、2戸以上であれば提案できるものと理解してもらいたい。

### その他の質問

雲仙市地産地消の店を認定する認定要件の具体的内容と今後の方向性について

## 福田　大東　議員
ふくだ　だいとう　小浜町

### 障害者福祉政策の現状と今後の取り組みは

**奥村市長**　現在、障害者福祉の事業は大きく区分すると自立支援事業と地域支援事業の2つの事業に分けられる。
　法に定められた基本事業である自立支援事業は、施設入所、生活介護、就労支援、更生医療及び補装具などの給付を行う事業であり、また、市が独自に行う地域支援事業は相談支援、地域活動支援センター、移動支援、手話通訳派遣、自動車運転免許取得及び日常生活用具の給付などの事業を行っている。また住宅改修事業、福祉タクシー事業や特別障害者手当ての支給などの事業を行っている。
　相談支援事業については、「雲仙市地域自立支援協議会」を設置し中立、公平性を確保する観点から相談支援事業の運営、評価を実施し、困難事例への対応のあり方に関する協議・調整などを通して地域の関係機関によるネットワークの構築と連携の強化を図っていく。
　また、個々の障がいのある人の問題に取り組む関係者で組織する「ケア会議」も平行して行っていく。
　今後も障がいのあるお一人お一人のニーズに沿った支援に努める。

**福田議員**
**雲仙市地域活動支援センターの事業内容が苦しい状況であるが支援対策はないのか。**

**小川市民福祉部長**　諸問題について検討協議している。
　また機能強化加算等についても現在協議中である。少し時間を頂きたい。

### 本市における地球温暖化対策は

**酒井農林水産環境部長**　本市の取り組み状況は、資源ごみの分別収集やコンポスト等の普及による生ごみの堆肥化など、資源化することでリサイクル活動の促進と、可燃ごみ袋の使用量削減を図ること、ひいては二酸化炭素の削減につながると考えている。
　また、市庁舎においては、省エネや省資源対策を中心に実施し、昨年11月「雲仙市地球温暖化ESD協議会」を設置した。
　長崎県地球温暖化防止対策計画に係る、温室ガス削減のための具体的に取り組み事項を市民運動として展開するために、長崎県地球温暖化防止活動推進員、関係諸団体、地域活動団体及び県内保健所が協力して、市の実情に即した地球温暖化防止対策を効果的に推進していく。

ふかほり　よしあき
## 深堀　善彰　議員　国見町

### 今後の市民提案事業補助制度は

**深堀議員　市民が主体となり、事業の企画、立案、そして市民が審査し、実施するこの補助制度を今後どのように考えているのか。**

**奥村市長**　数多くの提案を市民皆様より頂けるよう市のホームページや広報において広く募集すると共に、事業説明書を作成し、本庁及び各総合支所の窓口で配付するなど、周知徹底を図り、更なる事業の推進に努める。

**深堀議員　不採択になった提案や提案者に対しての配慮は。**

**宮崎企画課長**　その旨をお伝えするだけではなく、他の補助事業の対象となるような事業であれば、その事業の担当課と調整を図り、別途申請をしてもらうよう対応をする。

### 地域づくり補助制度は

**深堀議員　同一事業を行う場合に交付する補助金の交付回数は、年1回とし、通算で3回を限度とすると定められている。平成20年度は、3回目を迎える団体が多数あると思われるが。**

**宮崎企画課長**　限られた財源の中で、幅広く支援を行う必要があるので、団体が育成されるまでの一定期間助成を行い、補助期間終了後は、自立した事業展開を図ってもらう。

また、本年度の事業申請時に、各申請団体から補助期間終了後の事業実施計画を提案してもらい、今後の事業展開や方向性を共に協議していく。

### 市内交通計画は

**深堀議員　昨年施行された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく雲仙市地域公共交通総合連携計画の策定については。**

**宮崎企画課長**　昨年実施したアンケート調査の結果をもとに、公共交通の課題を整備し、基本方針を定める。

先般、市や公共交通事業者、道路管理者、公安委員会、地域利用者等から組織する雲仙市地域公共交通協議会の設置を行い、雲仙市地域公共交通総合連携計画についての協議、調整を行っている。

また、市民からの意見も取りまとめ、協議会にて最終調整を行い、同計画を策定する。

### 子育てサポートセンター事業は

**深堀議員　今後の取り組みや展開については。**

**奥村市長**　昨年度に引き続き事業を展開し、子育てサポートメール便事業や子育てお宝用品紹介事業を新たに取り組む。

また、市内各地で交流会を開催し、多くの市民の意見や要望を伺いながら、よりよい制度になるよう努める。

いわなが　もとかず
## 岩永　基和　議員　吾妻町

### 水道料金の改定について

**岩永議員　早くも合併後、2年数ヵ月が経過している。**

**さる、2月1日の全員協議会において、雲仙市水道料金審議会の答申の内容報告があり、また、雲仙市として水道料金の負担は公平適正な水道料金の設定にあたり、市長はこの答申を受け、水道料金の改定と決定の時期について、どのように判断するのか。**

**奥村市長**　平成19年12月、水道料金審議会より、水道料金の統一については、水道料金は、直接市民の生活に関わる問題であると答申内容を踏まえ、市民の公共料金の公平な負担という観点を勘案し、料金の統一化に向け、しばらく慎重に検討を重ねていきたい。

また、審議会の答申内容を自治会長会議や関係団体等に説明し、拙速に決定するのでなく十分市民の皆様に御理解をいただきたいと思っている。

### 市道吾妻栗林城線改良について

**岩永議員　この市道は、山田城址公園並びに、あそか保育園、うせん辻幼稚園と施設があり、毎朝夕は、子どもたちの送迎で通行量が多い。**

**また、道路は幅員が狭いうえ、排水路もなく、豪雨時には道路に水が氾濫し、交通渋滞を来たしている状況である。**

**自治会では平成16年に住民の同意、地権者も了解し、平成17年に測量設計も終っている。今後の対応については。**

**島田建設整備部長**　この路線は、吾妻町の馬場・栗林地区の集落内の道路で、道幅が2mから3mと非常に狭く、大雨時は、道路自体が川となるような状況であったため、旧吾妻町において、平成16年に道路幅員を5mに拡幅し、側溝を整備する計画を立て、平成17年に測量設計を実施した。

それに基づき、説明会等を行ったものの、協力は得られず、実施に至ってない路線である。

今後、地元関係者の方々がまとまっていただき、御協力が得られるようであれば実施に向け努力していきたいと考える。

## 岩下　勝　議員（いわした　まさる）　瑞穂町

### 水田経営所得安定対策について

**岩下議員　08年度から水田、畑作経営所得安定対策に変更され、特認制度が創設されるが、どう変るのか。**

**酒井農林水産環境部長**　地域水田農業ビジョンの中で、担い手と位置づけられた認定農業者、集落営農組織で、市町村が本対策への加入が相当と認めれば、経営規模に関わらず、国との協議により加入できる制度である。

**岩下議員　07年度は全国で7万haの水稲の過剰作付けがあった。結果として米価の大幅な下落により、経営を圧迫している。08年度の市への配分はどうなのか。**

**酒井農林水産環境部長**　目標配分数量は面積にして1472haで基準反収が少し下ったことで約7・6ha増加している。市全体では、各協議会管内での実行組合間での調整により、目標達成された。

### 米の生産調整について

### 仮設観光直売所について

**岩下議員　直売所の現状と今後の方向性について**

**宮崎企画課長**　市内13業者の出店協力を得て、物産販売を行いながら市のイメージアップに努めている。出店者から五月末まで延長が出来ないかとも聞いているが可能性については検討している。今後については、データを分析し、町下地区公有水面埋立地の活利計画の中で検討したい。

仮設直売所

### 全国棚田サミットについて

**岩下議員　第14回全国棚田サミット大会が開催されるが、雲仙市としての取り組みは万全なのか。**

**奥村市長**　千々石町岳棚田は、先人たちの技によって垂直に築れた石積の景観は他に類をみない美しさである、この遺産を受継ぎ保全活動に汗を流す集落やグループの活動を全国に発信したい。全国から1500名程度の参加を予定。雲仙市としては万全の体制で望みたい。

## 上田　篤　議員（うえだ　あつし）　瑞穂町

### 食事に困る高齢者の「掘り起こし」を

**上田議員　食事に困る高齢者に食事を届ける「食の自立支援事業」は非常に大事だと思う。雲仙市は他市町より進んでいるが、必要な人はもっといるのではないか。社協や自治会などと協力して（必要な人の）「掘り起こし作業」もやるべきだ。**

**小川市民福祉部長**　この事業は栄養改善や安否確認を含めた介護予防事業として、とても効果のある事業だ。利用希望者も今後増えると思う。

**奥村市長**「掘り起こし」は必要ない。必要な方からの申請にはサービスをしていく。

**上田議員　「事業」の配食が減った分を一般業者に頼んだら、油物ばかりで体調を壊したという話がある。事業を委託した後も、利用状況をつかむ必要があるのではないか。**

給食準備で忙しい調理員

### 「長崎新幹線」は新幹線ではない

**上田議員　全国新幹線鉄道整備法では「主たる区間を列車が時速200㎞以上で走る」ものを新幹線鉄道としているが、「長崎新幹線」は200㎞以上で走るのは、博多～新鳥栖間、武雄温泉～諫早間だけ。他は最高でも時速130㎞だ。これでは「新幹線」と言えないのではないか。**

**奥村市長**　法律に則ったものと思う。在来線比で26分の短縮効果がある。

**上田議員　「長崎新幹線」という名前から、東京から乗り換えなしで「ひかり」や「のぞみ」が長崎まで来るという誤解もあるのではないか。**

**奥村市長**　現在の新幹線が長崎まで来ることはない。しかし、将来的には「新幹線」がある所とない所では格差がでてくる。

**上田議員　特急、飛行機、高速道路もあるのに「新幹線」までいらない。**

## 小畑 吉時 議員（おばた よしとき）　国見町

### 埋立地の有効利用について

**小畑議員　国見町多比良、埋立地の有効利用方策と、これまで県と協議した内容、小浜町小浜マリーナ埋立地の埋め立てた目的の3点を尋ねる。**

奥村市長　多比良埋立地は平成24年に開催される全国和牛能力共進会サブ会場（島原市）の駐車場としての活用が予想されるので、その動向を見ながら利活用を考えたい。

　これまでの県との協議については、県のプロジェクトチーム策定のサッカースタジアム構想の説明があったが、県主体で建設できないか検討をお願いした。また、県の工業団地として利活用できないか検討をお願いしている。

塩田総務部長　小浜マリーナの埋め立てた目的は、普賢岳大火砕流の大打撃を受けた小浜町の活性化を図るため埋め立てられた。

**小畑議員　多比良埋立地は、旧国見町でも有効活用について議論した。若者の集うところなど、地域経済が活性化する企業誘致などは考えられないか。**

奥村市長　市としては埋立地をどのようにしたら有効に活用できるのか、多くの市民の声を聞き、議会とも相談し、更に所有者である県等の理解を得ながら活用法を検討していきたい。

多比良埋立地

### 成人式のあり方について

**小畑議員　成人式は合併後、市全体で開催されたが、旧町別の開催はできないか。また、式のあり方を検討する考えはないか。**

鈴山教育長　成人式は、市としての一体感の醸成のためにも、今後も一箇所開催で実施していきたい。

　式典の内容については、今回、新成人者の意見を取り入れて実施しており、今後も市民や新成人者の意見を聞きながら改善すべきところは改善していきたい。

## 柴田 安宣 議員（しばた やすのぶ）　愛野町

### 嘱託職員の任用の延長を

**柴田議員　嘱託職員の上限年齢が65歳とのことだが、まだ働きたいという人たちの意欲も考慮し、延長して任用できないか。**

塩田総務部長　年齢制限は、職員の再任用制度の上限及び年金の受給開始年齢が65歳であることや、他市の状況も参考にして制定した。

### 観光行政について

**柴田議員　黒松の松食い虫の被害対策で、県等で抵抗性品種の研究が進められている。この抵抗性品種を植え、観光と防災防潮に役立つ事業にすれば、絶大な費用対効果が出ると考えるが。**

酒井農林水産環境部長　抵抗松の単価は高額だが、今後景観等を維持するため、重点的に植栽していきたい。

**柴田議員　鍋島邸での緋寒桜を観光の資源としてさらに活用するために、付近を整備して多くの緋寒桜を植栽できないか。**

東観光商工部長　神代小路地区の保存計画の趣旨を踏まえ、地域住民の方々や専門家と協議しながら取り組んでいきたい。

**柴田議員　千々石川を整備してアユを放流し、農薬や汚水の問題も含めた環境保全につなげれば、地域の活性化が図れると考えるが。**

東観光商工部長　アユの放流については、住民の協力体制や地域への影響等を含め、しばらく研究していきたい。

### 市道愛野宮添北線・南線の改良について

**柴田議員　島原地域高規格道路のインターが、愛野の宮添地区にできた場合、市道宮添北線、宮添南線は通行不可能になり、地元は不便になる。**

　**現在建設中の、一本松道路との接続もあわせて改良するよう関係部署と協議を。**

奥村市長　地元の意見を設計に反映させ、現在の道路機能を損なわないように、県に要望していきたい。

## 荒木　正光　議員
あらき　まさみつ　千々石町

### 下水道事業について

**荒木議員** **①旧町ごと水道料金にばらつきがあるのを統一する理由**
**②旧千々石町においては、上下水道が他町に先駆け、推進されてきたが、加入率は40％ぐらい、今後料金の改正により、加入率が伸びないのではないか。**

**今崎上下水道局長** ①合併協定書に3ヵ年で調整するとなっている。
②下水道事業は生活環境の向上を目的とした事業であるので、今後とも加入推進に努力する。

**荒木議員** **2月に行政調査のため、別府に行き聞いたが別府には水が無い、水があればまだ活性化の道がある、ボーリングすれば湯が出て水は出ない。それも別府の特徴である。千々石には多くの水があり、きれいな安い水を求めて移り住む人もいる。水道料金が一律はおかしいと思う。**

**奥村市長** 自分たちの長所を生かしながら町の利便度を高めていくというのが必要と理解している。

### 庁舎建設について

**荒木議員** **庁舎建設については市民懇話会を立ち上げ多くの意見を聞き、検討されていることは大変良いことだと思うが、懇話会の話し合いはどのようになっているのか。**

**奥村市長** 本年度5回の会議を開催している。状況は合併協議会時における議論の経緯、現在の財政状況、市民、地域審議会の意見を求めてきた。新庁舎建設のメリット課題について整理・検討が進められているところである。

### 庁舎周辺の交通対策

**荒木議員** **職員駐車場が国道を隔てたところにあり、押しボタン式の信号を渡るので交通渋滞が発生している。対策はどのように考えているのか。**

**井上市民生活部長** 本庁の職員駐車場については旧吾妻町役場跡を107名が利用している。登庁時間帯は信号機を押す回数が増えるので渋滞しているが、他の時間帯はさほどの影響はない。

### 市職員の窓口対応

**荒木議員** **道路の改良に必要な図面の閲覧にいったら図面は見て良いが記載はできないと言われたが。**

**井上市民生活部長** 閲覧の際、必要事項を記入するのは申請者である。記入が無理である人以外は申請者の記入としている。

## 元村　康一　議員
もとむら　やすかず　小浜町

### 小浜マリンパーク一帯の開発について

**元村議員** **小浜温泉観光協会の山下・井上両副会長から、県の単独事業を活用し、湯量日本一の温泉の日本一長い足湯を作り、夕陽と湯けむりが見える温泉地として若い人達にも来てもらえる魅力ある一帯にしたいという計画説明と協力依頼があった。**
**小浜には、温泉と宿はあるが留まって遊ぶところがないと言われている。実現すると一つの大きな目玉になると思う。ぜひ、県が採択するよう働きかけてもらいたい。**

**奥村市長** 候補地となっているが現時点では決定に至っていない。小浜温泉街一帯の観光振興に寄与するものと捉え、県に強く要望活動をしていく。

### 仁田峠循環自動車道路の市道認定について

**元村議員** **市道として供用するには、再整備費や毎年の維持管理費、補修費等の市負担が伴い、維持管理費が年間実質275万円と試算されているが、移管後の観光関連消費額として約23億円が見込まれており、市の観光振興に大きく寄与するものと思うが、市長の考えは。**
**また、駐車場も県から市へ移管してもらい、駐車については環境美化協力金という名目で徴収し、市負担の維持管理費等に充てることはできないか。**

**奥村市長** 無料解放により観光振興、並びに地元産品の消費拡大など直接効果が見込め、市全体の活性化に大きく寄与するものと考えている。
駐車場の移管は、県において協議されている。駐車場使用料徴収は現時点では困難であると考える。

### 市遊休地の取り扱いについて

**元村議員** **公有財産貸付が、土地383件、建物18件ある。今後において活用目的がない市遊休財産については、優先順位など一定の条件をつけ、定住人口促進のためU・Iターン者へ周知し、公募により売却し財源としてはどうか。**

**塩田総務部長** 将来的に公共用地に使用しない財産、近隣に悪影響がないか等の調査を行い、適正な区画で売り払いを行う。

### 雲仙パークホテルを旧小浜町が購入しているがその後の経過について

**元村議員** **市は取り扱いに苦慮しているが。**

**東観光商工部長** 売却等を含め活用方法を探っていく。

11号
平成20年5月1日発行／第11号　発行●雲仙市議会
〒859-1107 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714　☎0957-38-3111　FAX0957-38-2252　HPアドレス http://www.city.unzen.nagasaki.jp/　Eメール info-unzen@city.unzen.nagasaki.jp
編集●議会広報編集特別委員会
印刷所●㈱昭和堂　☎0957-22-6000

# 韓国求礼郡訪問

## 「ファニョン（熱烈歓迎）」に感激！

**昨年12月の求礼郡議会から本市議会への訪問を受け、1月23日から26日までの日程で市議会議員9名（団長 元村康一副議長）が訪問した。**

今回は、マイナス7度の寒い中にも智異山に囲まれた豊かな自然と、心豊かな求礼郡の人々とのふれあいを経験した訪問となった。

まず、求礼郡守への表敬訪問では、本庁職員250余名が両サイドに並んでの歓迎を受け、訪問した全員が感激した。

続いて徐沂束（ソギヂン）郡守の歓迎式が行われた。徐郡守からは2012年全羅南道全域で麗水世界エキスポが開催され躍動している

との紹介がありました。

また懇談の中で、今後の交流の糸口に「子ども達のサッカー交流」を提案された。

郡守は、将来を担う子ども達の交流は第一に感じている。その交流が実現できれば、子ども達の交流の架け橋となり、他のスポーツも含め、語学や歴史、文化交流もできるとの考えを述べられた。

更に、「押花展覧会」の交流についても提案されました。

団長の元村副議長は、雲仙市の市長に報告し実現に向け努力しますと力強く応えた。

式典終了後、一行は郡内の園芸ハウスやウリミル工場などを視察した。

一行は、事務局が準備した単語ハンドブックや電子手帳を利用したり、通訳を介して、視察地でのの質問やお互いの自己紹介などをして交流を深めた。食事に関する言葉や表現などジェスチャーを交えた交流ではお互いが笑顔になり、親近感を得た瞬間でもあった。

また求礼郡議長主催の晩餐会では、韓国の伝統文化であるパンソリ（国樂公演）が披露された。リズム感ある珍島（チンド）アリラン民謡の歌にあわせて参加者全員が一つの輪になった時は、交流は更に深まった。

今回の訪問では、民間レベルでの交流は十分できなかったが、今後の交流促進や、どのような民間交流ができるのかのヒントを得たようだ。

今後の交流の一例として、中学生の修学旅行でお互いの地域における農業体験や、お互いのコミュニケーションを深める国際交流が可能になるのではないか。また、韓国の皆さんは九州を中心とした旅行形態も多いとのことだったので、観光客誘致を図っていく上で、求礼郡との交流を始め、ソウル、釜山を含めた観光客誘致活動も模索すべきではないかと感じた。

## 編●集●後●記

3月議会が閉会し、ほっと一息つくと、あたりには春を彩る花々が咲き始めていました。

今年の桜はどこも美しく、「議会だより」の表紙用にと市内の桜の名所を訪れました。

デジカメ片手に花見客の間を歩き回る。青空を背景に風に揺れる淡いピンク。ボンボリの灯りに白く浮かびあがる夜桜。

また、入学式の季節でもあり、来賓として出席する傍ら広報委員の腕章をつけて、かわいい新一年生たちを撮りました。

さて、11号の表紙に選ばれるのはどの写真でしょうか。

今回は、一般質問を二人で一ページとしましたが、皆様にとって読みやすくなっているでしょうか。雲仙市議会の動きを知っていただけるようにと、定例会概要、意見書等のページを増やしました。

新しい編集体制になって、更に意欲的な活動へ進み始めた感があります。

M・Y

**議会広報編集特別委員会**
◎増山良三
○吉田美和子
中村勲
小田孝明
柴田安宣
町田康則
原田洋文
深堀善彰

PRINTED WITH SOY INK
この「雲仙市議会だより」は、揮発性有機化合物を一切含まないノンVOC植物性インキを使用しています。また、印刷はISO14001認証取得工場で行っています。